

一般質問

未だかなわぬ 歩道設置



無会派

横山 榮吉

問 市政運営は、責任者が交代しても継続性が必要であると考えますが。

答 市民との約束は、継続性が大切であると認識しており、何よりも信頼関係を念頭に置きながら履行に努めています。

市長や担当部長、交渉担当者との交代があったとしても、事務決裁規程に基づく事務引継書に對外的な約束事項を明記し、後任者への引き継ぎを行っています。



玉園中学校付近の危険な交差点

玉園中学校周辺道路の安全対策のうち市道妙法寺今堀線は、地元で計画されているほ場整備事業により歩道の確保が見込まれることから、地区計画の区域に接する部分については歩道を設置する計画です。

問 今議会に提出されている東近江市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正に合わせて、市道最上街道線を含む玉園中学校周辺道路の安全対策を。

答 18年に都市計画法が改正され、市街化調整区域であっても、地区計画が決定された区域では開発行為が可能となりました。当市も24年度から地区計画の運用を始め、これまで4地区を決定しました。

また、市道最上街道線は、近い将来の整備に備え、現況の道路幅員も考慮してセツトバックするとともに、交差点の視界を良くするなどの安全確保に努めていきます。

問 発達障がいと、不登校・行きしぶり等との関連の有無について、調査や検討はされたのか。

答 不登校・行きしぶりの原因は多岐にわたっており、個々のケースに応じた対応をしています。また、市立小中学生の欠席状況調査で、年間30日以上欠席する生徒についてはその原因を究明し、対象児童・生徒や保護者への対応は、学校や児童生徒成長支援室と連携し実施しています。

一昨年と昨年を比較し、不登校児童・生徒数は減少しています。

どちらも教育の重要課題として認識しており、今後関係機関と連携しながら適切に対応します。

感謝の気持ちが欠けている



太陽クラブ

戸嶋 幸司

問 市内中学校の給食を視察したが、感謝していただく、という食育の視点が疎かになっている。

答 学校給食は、成長期にある児童、生徒の健康の保持、増進と体力の向上に大きな役割を担っており、安全で栄養バランスのとれたものを実施することが大切です。

さらに、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけるために、重要な役割を果たしているとも考えています。

学校給食を通して、新鮮な地元農産物や伝統食、旬の食材の利用のほか、食事のマナーや食べ物への感謝の気持ちを育



3割以上残され廃棄処分となる牛乳

今後は、栄養教諭を活用した食育授業も積極的に行い、食べ残しが無いよう取り組めます。

問 市内にあるスポーツ・文化施設の遊具や備品の一部に激しい老朽化が見られるが、これらの一般的な管理体制は。

答 公園施設等の遊具は、指定管理者や維持管理委託業者の中で、講習を履修し専門的な知識を身につけた者が定期的に点検を実施しています。

備品については、公園の日常管理において確認し、対応しています。手順については、破損や故障の状況を把握するため現地確認を行います。軽微な破損はその場で対応し、部品交換が必要な場合は撤去や使用禁止の処置を行い、修繕方法を検討し対応しています。

特に、牛乳については、中学校平均で約2割近く飲み残しがあります。学年の発達段階に応じた指導計画を作成し、特別活動、生活科、保健体育科の時間などで食育に取り組みんでいます。